

SHIBAURA

取扱説明書

シバウラ 非常用浄水装置

MK13AB




当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こす恐れがあります。お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに弊社または弊社製品取扱い販売店にご注文ください。




○ もくじ

○ 安全にご使用いただくために	1
1 安全のために必ず守っていただきたいこと	
1. 警告ラベルの貼付位置	2
2. 注意項目	3
2 各部の名称	
1. 浄水装置本体	7
2. 消毒装置	7
3. モーターポンプ	7
3 取扱方法	
(運転準備)	
1. 運搬	8
2. 設置	8
3. 本体の準備	10
(操作方法)	
1. 始動	11
2. ハウジングのエア抜き	11
3. 浄水の出し方	11
4. 消毒剤の調整	12
5. フィルタの逆洗	12
6. 停止	13
(ご使用の後に)	
1. 水抜き	14
2. フィルタの取外し・取付	14
3. フィルタの洗淨	16
4. フィルタの交換	16
5. 保管	17
4 定期点検	
1. モーターポンプ	19
2. 消毒装置	20
3. 動力点検や取水訓練の方法	20
5 故障の原因と処置一覧表	
1. 浄水装置本体及びモーターポンプ	21
2. 消毒装置	22
6 諸元表	23

取扱説明書は機械の一部です。

非常用浄水装置と共に大切に保管して下さい。

- この取扱説明書の文中で  マークをつけている項目は、安全にお使いいただくうえで特に重要な項目ですので必ず守ってください。

 危険	取扱いを誤った場合、死亡又は重症を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 警告	取扱いを誤った場合、死亡又は重症を負う危険が想定される場合。
 注意	取扱いを誤った場合、軽傷又は物的損害の発生が想定される場合。

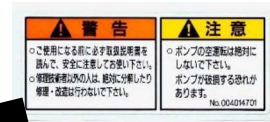
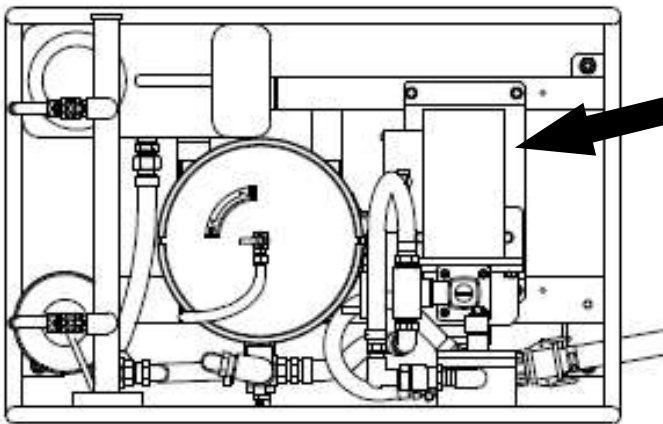
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- 本書をお読みになり、万一わかりにくい点、あるいはお困りのことがございましたら、本製品をお求めになりました販売店、もしくは弊社にご連絡ください。
- 点検・整備については、販売店にご依頼ください。

1 安全のために必ず守っていただきたいこと

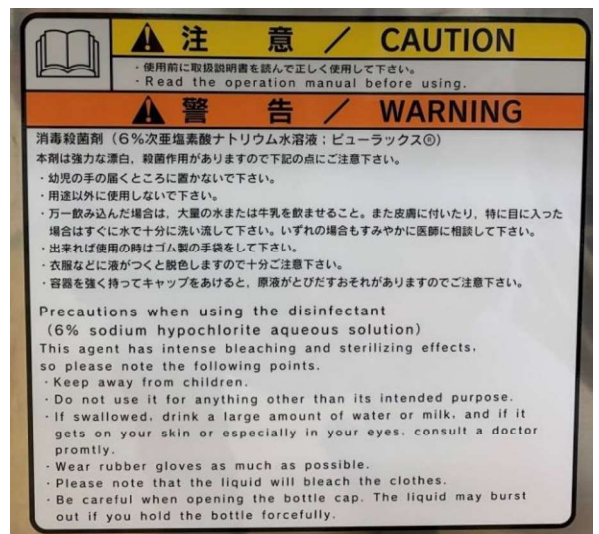
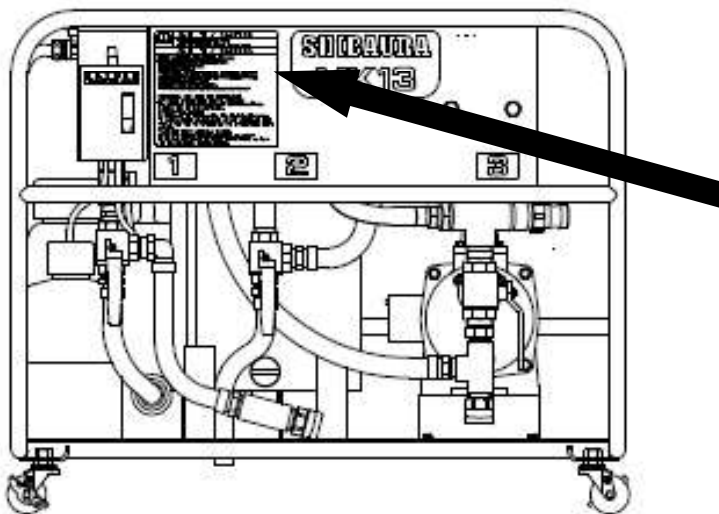
1. 警告ラベル貼付位置

下図の位置に警告ラベルを貼り付けてあります。

はがれたり、損傷した場合は、各ラベルの部品番号でご注文ください。



004014701



K29001210

1 安全のために必ず守っていただきたいこと

2. 注意項目

(1) 全般的な注意項目

- ⚠ 警告** ○使用前に取扱説明書を読んで正しく使用してください。
〈守らないと〉 ●誤った使い方をすると重大な事故をまねくおそれがあります。
- ⚠ 注意** ○定期点検を必ず実施してください。
〈守らないと〉 ●破損等による事故の発生や、作業に支障が出るおそれがあります。
- ⚠ 警告** ○はち巻、首巻、ネクタイ、腰タオル等は禁止です。ヘルメット、滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない服装をしてください。
〈守らないと〉 ●機械に巻き込まれたり、滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。
- ⚠ 警告** ○飲酒、過労、病気、薬物の影響などの理由により作業に集中できないときは、運転操作しないでください。
〈守らないと〉 ●重大な事故につながるおそれがあります。
- ⚠ 危険** ○水以外の可燃物、薬物等の液体を吸い込まないでください。
〈守らないと〉 ●爆発、火災、ヤケド、中毒等のおそれがあります。
- ⚠ 注意** ○油脂等を破棄する場合は、産業廃棄物処理の専門業者に処分を委託してください。
〈守らないと〉 ●火災やヤケドをしたり環境を汚染するおそれがあります。
- ⚠ 警告** ○純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。改造をしないでください。
〈守らないと〉 ●事故・ケガ、機械の故障をまねくおそれがあります。

1 安全のために必ず守っていただきたいこと

(2) 運転前の注意項目

⚠ 注意 ○非常用浄水装置を持ち上げて運んだり、積み下ろしをする場合は、2人で持つてください。

〈守らないと〉 ●足の上に落してケガをしたり、腰を痛めるおそれがあります。

⚠ 注意 ○電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
○電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差込が緩いときは使用しないでください。

〈守らないと〉 ●感電・ショート・発火の原因になります。

⚠ 注意 ○設置するときは雨や水がかからないようにしてください。
○モーターに水をつけたり、水をかけたりしないでください。
○電源に電源コードを接続する前に必ず接地（アース）してください。

〈守らないと〉 ●漏電により感電やケガ・故障の原因になります。

⚠ 注意 ○交流100V以外では使用しないでください。

〈守らないと〉 ●火災・感電の原因になります。

⚠ 注意 ○呼び水なしの空運転はしないでください。
○空運転した場合はすぐに呼び水を入れず、ポンプの温度が下がってから入れてください。

〈守らないと〉 ●モーターポンプを損傷するおそれがあります。

(3) 運転中の注意項目

⚠ 注意 ○モーター内部に手を入れしないでください。

〈守らないと〉 ●感電の恐れがあります。

⚠ 注意 ○モーターポンプに衝撃を与えないでください。

〈守らないと〉 ●感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

1 安全のために必ず守っていただきたいこと

(4) 点検整備時の注意項目

- ⚠ 注意** ○中空糸膜フィルタの中空糸にさわらないでください。
〈守らないと〉 ●中空糸膜フィルタ破損の原因となります。
- ⚠ 注意** ○浄水装置使用後は水抜きを充分に行ってください。
○浄水装置使用後はフィルタを外し、凍結しない場所に保管してください。
〈守らないと〉 ●凍結により浄水装置本体及びフィルタを破損するおそれがあります。
- ⚠ 注意** ○消毒剤を廃棄する場合は、必ず水道水等で100倍以上希釈してから廃棄してください。
〈守らないと〉 ●中毒をおこしたり、環境を汚染するおそれがあります。

(5) 非常時の原水の種類

- ⚠ 警告** ○使用原水は、安全性の確認された水を選んでください。
水道水を原水としてプールに貯水されている水が基準です。
○有害物質（殺藻剤・防藻剤等）が混入している水は使用できません。
○海水は淡水化できません。
〈守らないと〉 ●中毒をおこすおそれがあります。

(6) 消毒剤（6%次亜塩素ナトリウム水溶液）使用上の注意

- ⚠ 警告** ○本剤は強力な漂白、殺菌作用がありますので下記の点にご注意ください。
○幼児の手の届くところに置かないでください。
○用途以外に使用しないでください。
○万一飲み込んだ場合は、大量の水または牛乳を飲ませること、また皮膚についたり、特に目に入ったりした場合はすぐに水で十分に洗い流してください。
いずれの場合もすみやかに医師に相談してください。
○皮膚についたときは、水で十分洗ってください。
○使用のときは、なるべくゴム製の手袋をしてください。
○衣服などに液がつくと脱色しますので十分ご注意ください。
○容器を強く持ってキャップを開けると、原液がとびだす恐れがあります。
〈守らないと〉 ●中毒、器物破損をおこすおそれがあります。

1 安全のために必ず守っていただきたいこと

(7) ハウジング（フィルタ内蔵）の取扱いについて

- ⚠ 警告** ○ハウジングのフタ取付箇所にOリングを正しく取付てください。
○フタをハウジング上部のOリング上に均一に置いてください。

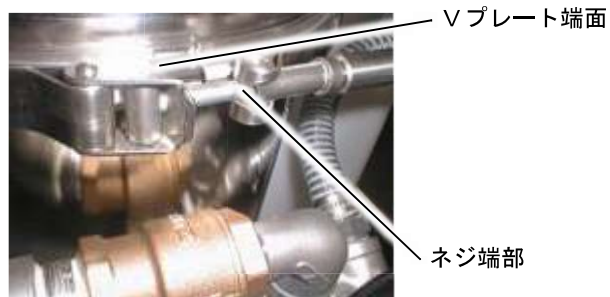
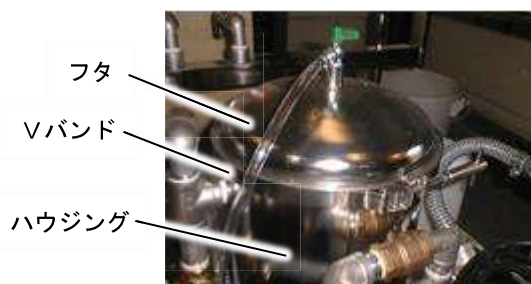
〈守らないと〉 ●高圧の水が噴出するおそれがあります。

- ⚠ 警告** ○運転中に浄水出口の蛇口を閉めないでください。

〈守らないと〉 ●ハウジングが破裂する恐れがあります。

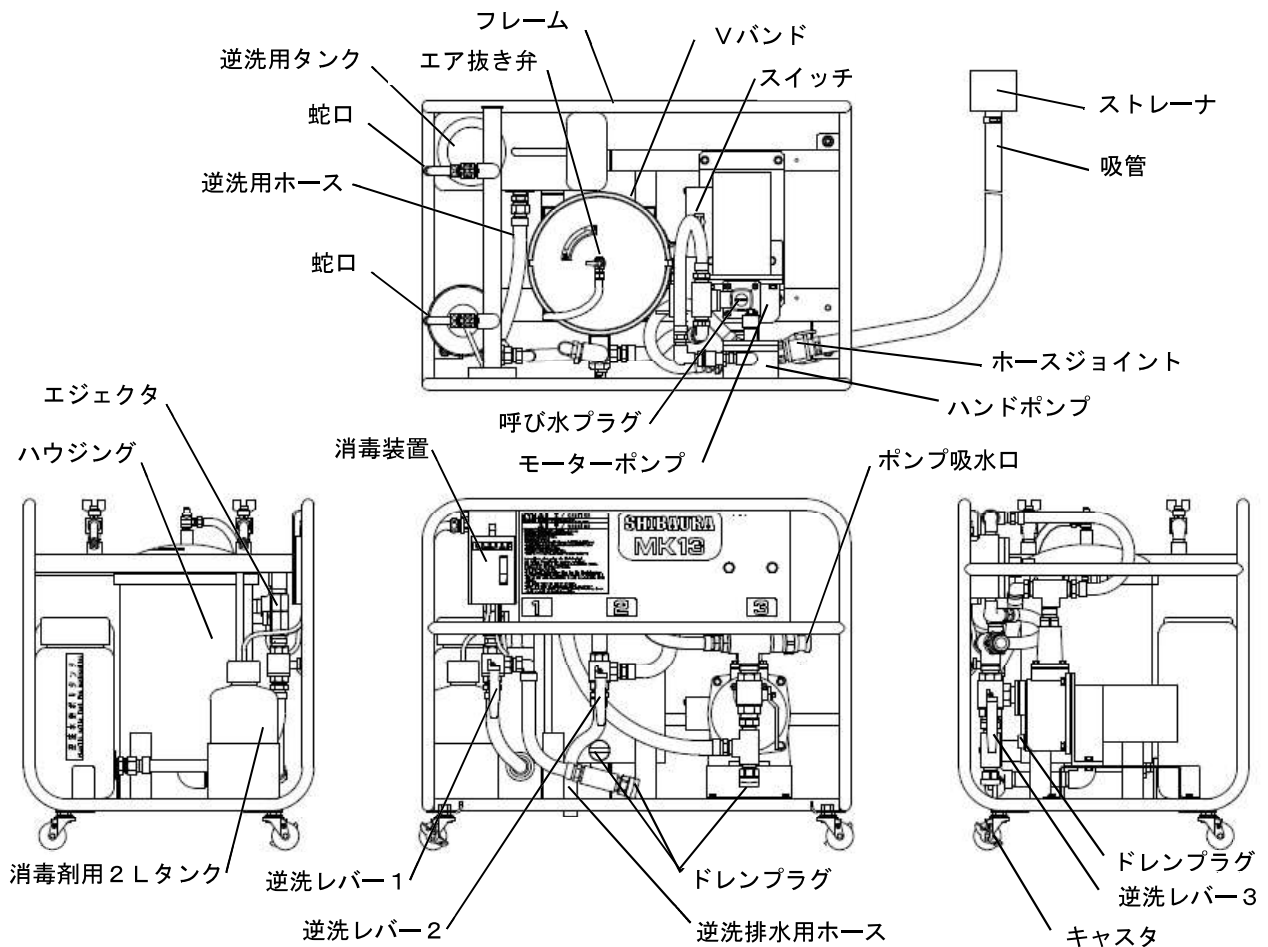
- ⚠ 警告** ○Vバンドを強く締め上げてください。
ネジ端部がVバンド丸めプレート端面までねじ込んで、ネジ部が見えなくなるまでしっかり締め上げてください。

〈守らないと〉 ●ハウジングが破裂する恐れがあります。



2 各部の名称

1. 浄水装置本体



2. 消毒装置

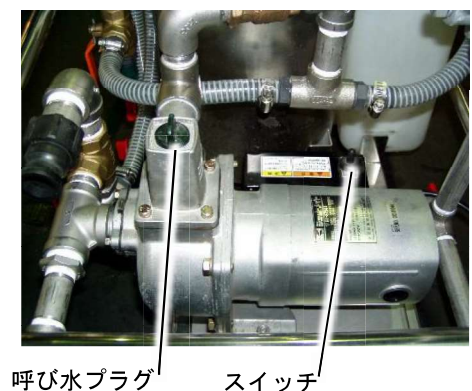
消毒装置本体



消毒剤用 2 L タンク



3. モーターポンプ



3 取扱方法（運転準備）

1. 運搬

○浄水装置を移動、積み下ろしする際は、フレームを持って運搬してください。

注意

- 非常用浄水装置を持ち上げて運んだり、積み下ろしをする場合は、2人で持ってください。
- 足の上に落してケガをしたり、腰を痛めるおそれがあります。

2. 設置

- (1) 水源を目視にて、必要な水量が確保できること、著しい腐敗や浮遊物、沈殿物等がなく、使用上支障が無いことを確認してください。
- (2) 浄水装置はできるだけ水源に近づけ、水平な場所に設置してください。
- (3) 吸水高さはなるべく3m以下になるように設置してください。吸水高さが高くとポンプの能力が低下したり落水したりすることがあります。

注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
- 電源コードや電源プラグが痛んだり、コンセントの差込が緩いときは使用しないでください。
- 感電・ショート・発火の原因になります。

注意

- 設置するときは雨や水がかからないようにしてください。
- モーターに水をつけたり、水をかけたりしないでください。
- 電源に電源コードを接続する前に必ず接地（アース）してください。
- 漏電により感電やケガ・故障の原因になります。

注意

- 延長して電源コードを使用になる場合は、電線は2mm²以下のコードを使用しないでください。
- 電圧降下のため、過電流が発生し、作動不良、コードの発熱等が発生します。

注意

- 発電機を使用するときはポンプ消費電力の3倍程度の容量をもった発電機を使用してください。
- 低い容量の発電機を用いると正常に作動しない場合があります。

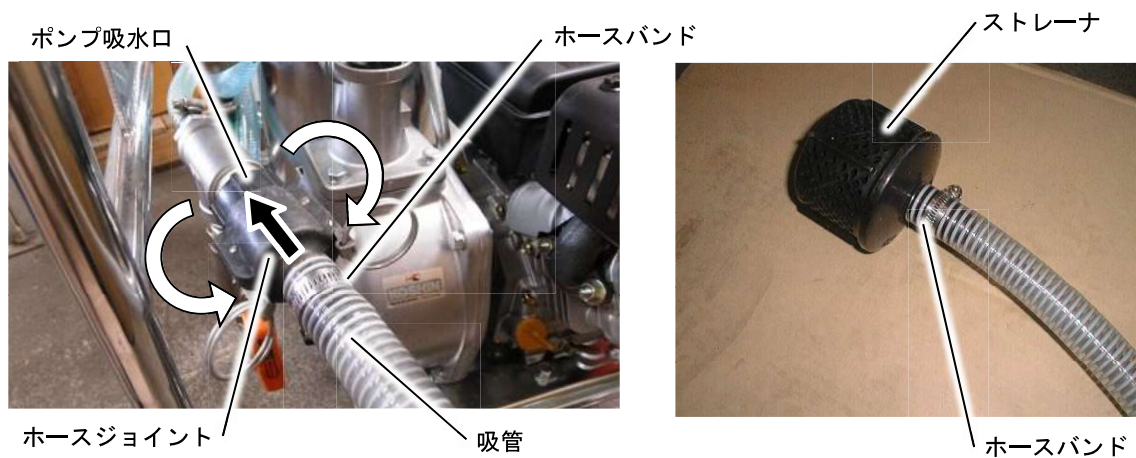
3 取扱方法（運転準備）

⚠ 注意

- 使用原水は、安全性の確認された水を選んでください。
水道水を原水としてプールに貯水されている水が基準です。
- 有害物質（殺藻剤・防藻剤等）が混入している水は使用できません。
- 海水は淡水化できません。
- 中毒をおこすおそれがあります。

(4) 吸管を取付けます。

- ホースバンドのゆるみがないか確認後、ホースジョイントを吸水口に確実に締め付けます。
締付が不完全だと吸水しない場合があります。

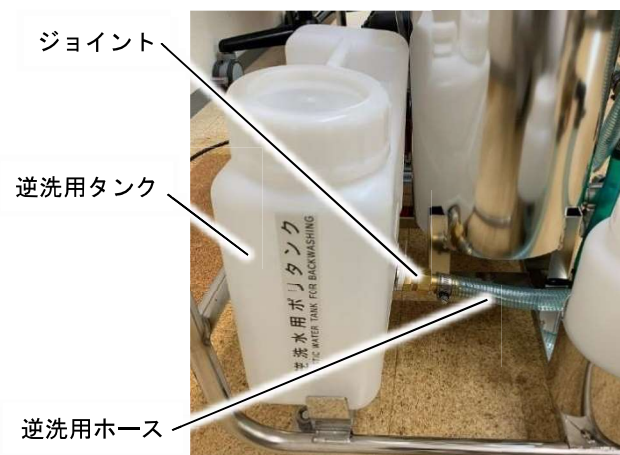


(5) ストレーナを原水に入れます。

- 吸管の先端のストレーナが原水中に完全に沈むように調整します。
- ストレーナから水底の泥やゴミを吸ったり、ストレーナが水面上に浮いてエアを吸ったりしないように注意してください。
- 水源に藻などが発生している場合は、吸水口周辺の藻を取り除いてください。

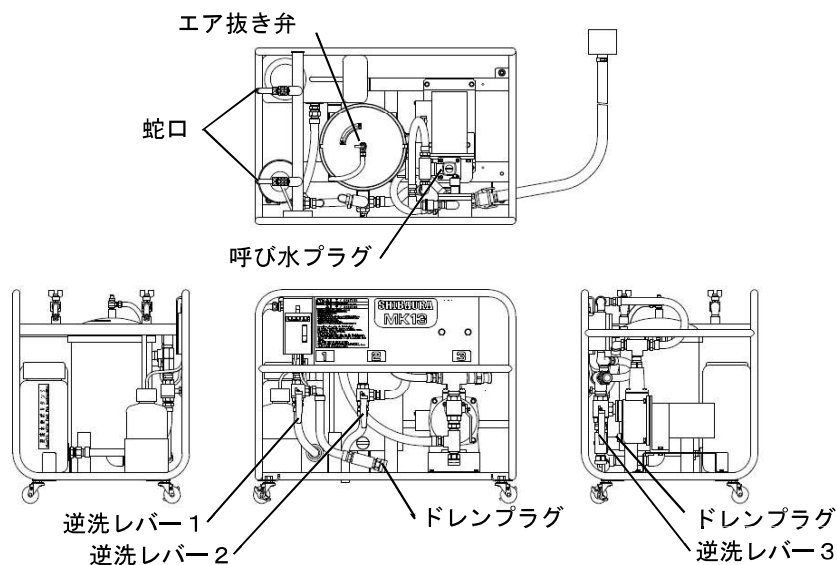
(6) 逆洗用タンクを点検します。

- 逆洗用タンクに逆洗用ホースの先端にあるジョイントが、しっかり締め付けられていることを確認してください。



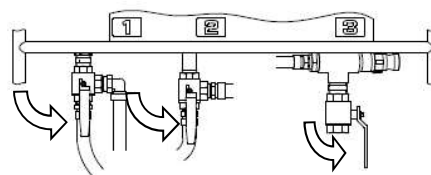
3 取扱方法（運転準備）

3. 本体の準備



- (1) ドレンプラグ（4ヶ所）を締め付けます。
蛇口（2ヶ所）とエア抜き弁を開きます。

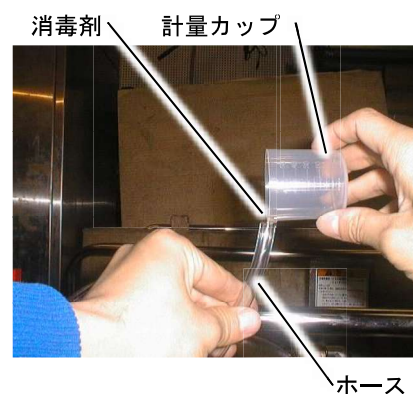
- (2) 蛇口に浄水ホースを取り付けます。



- (3) 逆洗レバー1、2、3を反時計方向に回し、タテに向けます。

- (4) 計量カップ（付属品）で消毒剤5 mLを、エア抜き弁のホースの先端からハウジング内に入れます。
計量カップ（付属品）で消毒剤5 mLを、逆洗タンクに入れます。

- (5) モーターポンプ上部の呼び水プラグを外し、呼び水をほぼいっぱい（約1.3 L）に入れ、呼び水プラグを締めます。



呼び水のない場合は、ハンドポンプレバーをハンドポンプに取付けてレバーを前後に動かし、モーターポンプに呼び水を行います。15～20回を目安にレバーを往復させます。
ハンドポンプはモーターポンプが作動しない場合に手動用動力として使用できます。

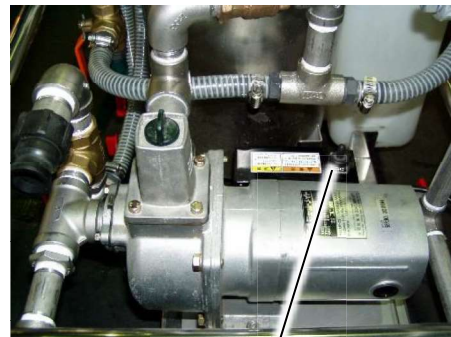
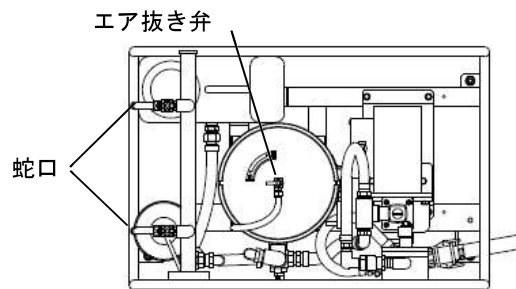
⚠ 注意

- 呼び水なしの空運転はしないでください。
- 空運転した場合はすぐに呼び水を入れず、ポンプの温度が下がってから入れてください。
- モーターポンプを損傷するおそれがあります。

3 取扱方法（操作方法）

1. 始動

- (1) 蛇口（2箇所）の浄水ホース先端に障害物がないことを確かめます。
- (2) コンセントをAC100V電源に接続します。
- (3) スイッチをONにします。



スイッチ

2.ハウジングのエア抜き

- (1) ハウジング上フタのエア抜き弁が開いていることを確認してください。
ポンプから送られた水が、ハウジング内に満たされ、エア抜き弁用のホースから水が出てきたら閉じます。



エア抜き弁

(※) このエア抜きは、ハウジング内の水を抜いた時や逆洗操作終了時にも必ず行ってください。
エア抜きが不完全ですと、膜ろ過の性能が著しく落ちる場合があります

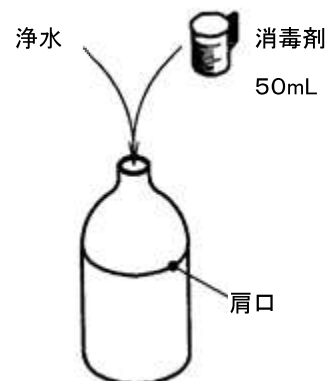
3. 浄水の出し方

- (1) 蛇口が開いていることを確認してください。
浄水ホースより浄水がでます。

3 取扱方法（操作方法）

4. 消毒剤の調整

- (1) 消毒剤用 2 L タンク内で、消毒剤原液を 40 倍に薄めます。
消毒剤用 2 L タンクに消毒剤原液 50 mL を入れた後、蛇口から出た浄水を消毒剤用 2 L タンクの肩口まで入れます。



- (2) 蛇口の弁で流量を調整し、消毒装置の調整つまみ（黒）を“濃い”の方向へ回して、点滴管から消毒剤が 1 秒間に 2～3 滴の間隔で滴下されるように調整してください。



- (3) 再び必要とする浄水量になるように調整した後、残留塩素測定器で残留塩素濃度の測定を行いながら、浄水の残留塩素濃度が、 $0.1 \sim 1.0 \text{ mg/L}$ (= ppm) になるように再度調整つまみ（黒）で滴下量を微調整してください。

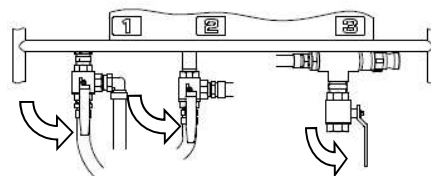
(※) 残留塩素濃度測定器取扱説明書を参照してください。

(※) 消毒装置の調整つまみを「薄い」方向に強く締付けないでください。故障の原因となります。

5. フィルタの逆洗

逆洗とは、フィルタに浄化した水を逆流させてフィルタの汚れを落とす操作のことです。

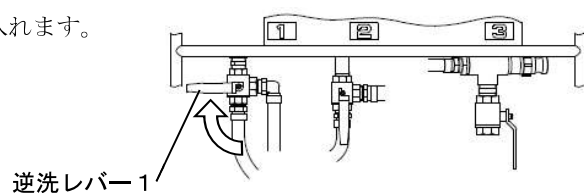
- (1) 通常の浄水操作を行い、蛇口から浄水を出します。
逆洗レバー 1、2、3 の方向はタテです。
ハウジング内のエア抜きは必ず行ってください。



- (2) 逆洗用ホースの先端が、付属の逆洗用タンクにしっかり締め付けられていることを確認します。

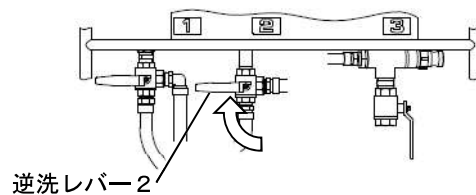


- (3) 逆洗レバー 1 をヨコに向けて、逆洗用タンクに水を入れます。
レバーは時計方向に回します。

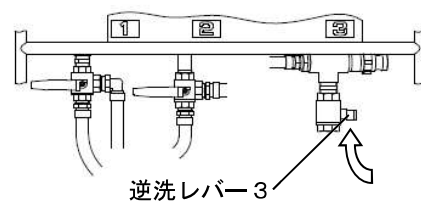


3 取扱方法（操作方法）

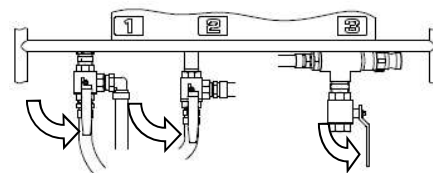
- (4) 逆洗用タンクが満水になる前（タンクの肩口位）に、逆洗レバー 2 をヨコに向けて排水ホースから水を出します。レバーは時計方向に回します。



- (5) 逆洗レバー 3 をヨコに向けると逆洗が始まります。レバーは時計方向に回します。



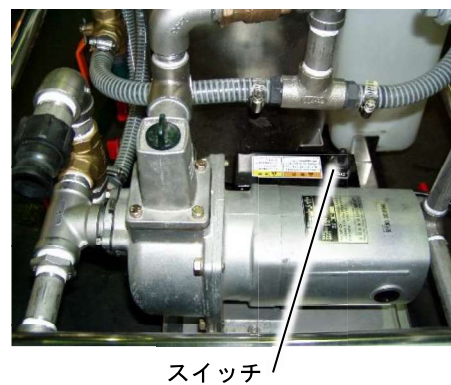
- (6) 排水ホースから水が出なくなったら、逆洗レバー 3、2、1 の順にタテに戻します。レバーは反時計方向に回します。



- (7) 浄水を続ける場合は、ハウジングのエア抜き操作を行います。

6. 停止

- (1) スイッチをOFFにします。
(2) 電源コードのプラグをコンセントから抜きます。

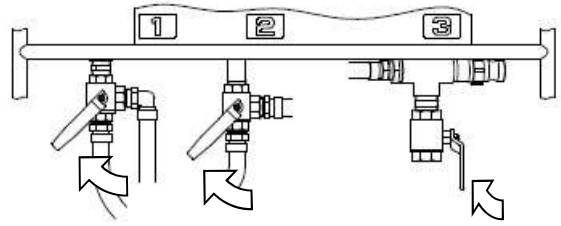


3 取扱方法（ご使用の後に）

1. 水抜き

作業が終わり保管する場合や、凍結の恐れのある場合は、装置内の水を必ず抜いてください。

- (1) ポンプ吸水口から吸管を外します。
- (2) ハウジングのエア抜き弁を開けます。
- (3) ドレンプラグ（4ヶ所）を外して排水します。
逆洗レバー 1、2、3 を斜め方向（約45度）
にして排水します。



- (4) ハウジング用のフタを外し、活性炭フィルタを外し、中空糸膜フィルタが取り付けられている状態で、水道水による流水でフィルタを含むハウジング内の汚れを洗い流してください。

※「3 取扱い方法（ご使用の後に）2. フィルタの取外し・取付」参照

- (5) 排水が完了したら、ドレンプラグ（4ヶ所）を確実に締め付けます。

- (6) フィルタを洗浄します。

※「3 取扱い方法（ご使用の後に）3. フィルタの洗浄」参照

- (7) ハウジングのフタを取り付け、エア抜き弁を閉じます。

2. フィルタの取外し・取付

- (1) Vバンドを取外し、フタをとります。



- (2) 樹脂製ナットを手で外し、プレートを外します。



- (3) 活性炭フィルタを取り外します。



- (4) 中空糸膜フィルタを取り外します。



3 取扱方法（ご使用の後に）

(5) フィルタを取付けるときは、フィルタ本体や取付部にゴミがないことを確認してください。

フィルタを取付けるときは、水道水（次亜塩素酸ナトリウムを含有した水）でハウジング内の汚れを落としてからおこなってください。

(6) ハウジングのフタをOリング上に正しくセットした後に、Vバンドで強く締め付けてください。

⚠ 警告

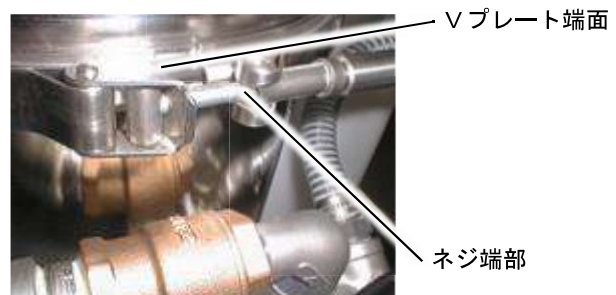
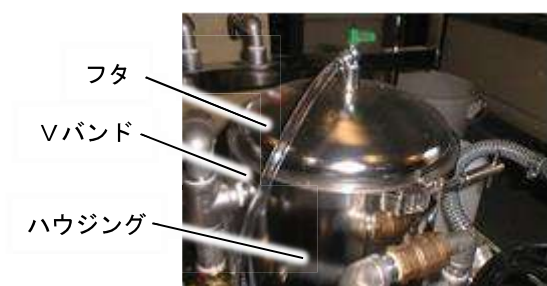
- ハウジングのフタ取付箇所にOリングを正しく取付けてください。
- フタをハウジング上部のOリング上に均一に置いてください。
- 高圧の水が噴出するおそれがあります。

⚠ 警告

- 運転中に浄水出口の蛇口を閉めないでください。
- ハウジングが破裂する恐れがあります。

⚠ 警告

- Vバンドを強く締め上げてください。
ネジ端部がVバンド丸めプレート端面までねじ込んで、ネジ部が見えなくなるまでしっかり締め上げて
ください。
- ハウジングが破裂する恐れがあります。



3 取扱方法（ご使用の後に）

3. フィルタの洗浄

フィルタの表面についた汚れを水で洗い流します。

⚠ 注意

- 中空糸膜フィルタの中空糸にさわらないでください。
- 中空糸膜フィルタ破損の原因となります。

- (1) 中空糸膜フィルタ、活性炭フィルタともに水道水または浄水でゆすぐか、洗い流してください。
- (2) 洗浄後は2～3日日陰干しをして乾燥させた後、取外した逆の手順でフィルタ取付けてください。



4. フィルタの交換

逆洗をしても浄水の出が悪い場合は、以下の方法でメンテナンスをおこなってください。

- (1) 活性炭フィルタを付属の新品と交換します。
付属の新品を使用後は、お買い上げの販売店より購入してください。
※「3 取扱い方法（ご使用の後に）2. フィルタの取外し・取付」参照
- (2) 中空糸膜フィルタを新品と交換します。
新品はお買い上げの販売店より購入してください。
※「3 取扱い方法（ご使用の後に）2. フィルタの取外し・取付」参照
- (3) 中空糸膜フィルタを交換しても浄水の出が悪い場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- 浄水装置使用後は水抜きを充分に行ってください。
- 浄水装置使用後はフィルタを取外し、凍結しない場所に保管してください。
- 凍結により浄水装置本体及びフィルタを破損するおそれがあります。

3 取扱方法（ご使用の後に）

5. 保管

装置を使用後に保管する場合は装置内の水抜き後に各部のメンテナンスをおこなってください。

（1）本体

- ・使用後及び長期にわたって使用にならない時は、必ずモーターポンプのスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・使用後の排水を確実に行ってください。
- ・冬季に0℃以下になりますとポンプケーシング内や配管内の残水が凍りつき、機器を破損させる恐れがありますので、使用後は必ず排水操作を確実に行ってください。
- ・保管する時は、雨や水などが掛からない場所を選んでください。

（2）消毒剤

消毒剤用2Lタンクに残った消毒剤は廃棄してください。

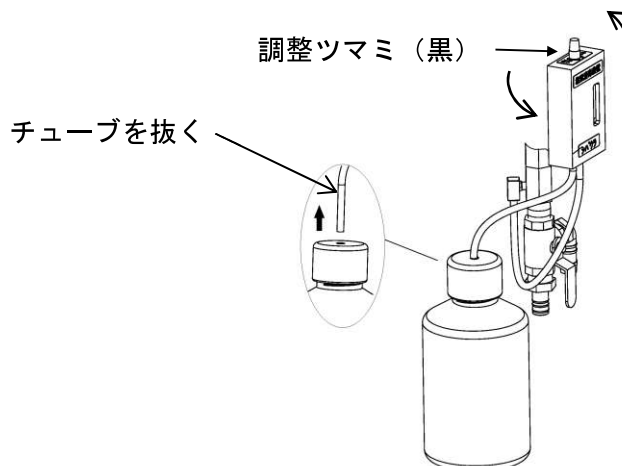
⚠ 注意

- 消毒剤を廃棄する場合は、必ず水道水等で100倍以上希釈してから廃棄してください。
- 中毒をおこしたり、環境を汚染するおそれがあります。

※消毒装置内の消毒液の排出方法について

・浄水運転時の排出方法

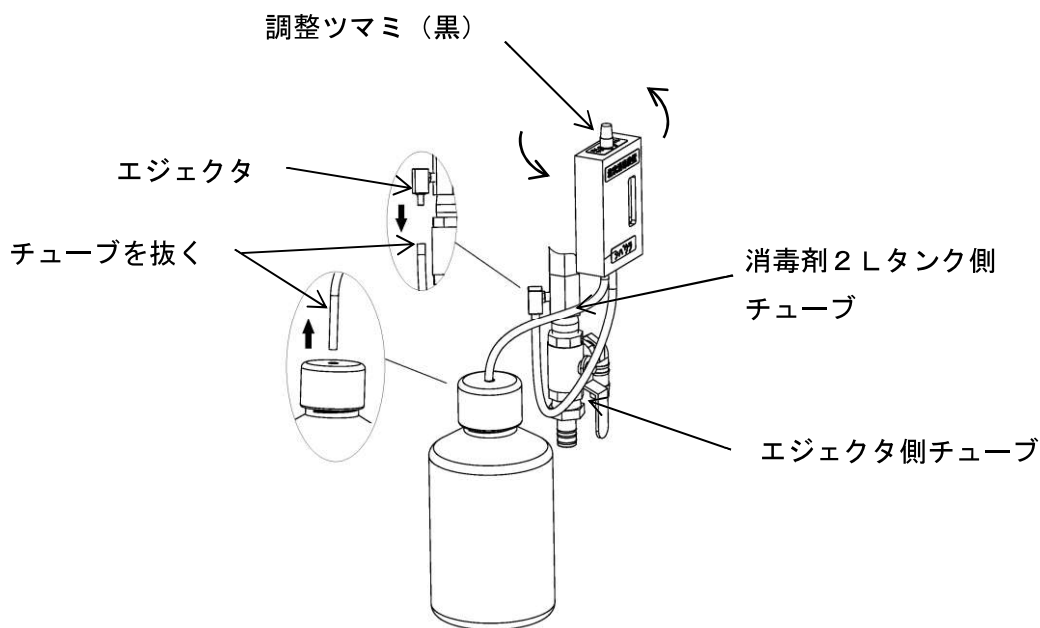
- ①消毒装置内に残った消毒剤を排出するには、浄水運転中に消毒剤2Lタンクに差し込んであるチューブを抜きます。
- ②消毒装置の上部にある黒色の調整ツマミ（黒）を約1回転開きます（反時計方向）。
これで、スムーズにチューブ内の液体が排出されます。



3 取扱方法（ご使用の後に）

・浄水運転後・水抜き時の排出方法

- ①消毒剤 2 L タンクに差し込んであるチューブを抜きます。
- ②エジェクタ側チューブを、エジェクタ側から引き抜きます。
- ③消毒装置の上部にある黒色の調整つまみ（黒）を約 1 回転開きます（反時計方向）。
- ④消毒剤 2 L タンク側チューブから、口で息を吹き入れて、エジェクタ側チューブから消毒装置内の液体を排出します。
- ⑤上記 2 種類のチューブを元通り差し込んで終了します。



(3) 逆洗用タンクの排水

逆洗用ホース端部のカップリングを手で外し、逆洗用タンク内に残った水を排水します。
排水後は再び元の状態に戻しておきます。

(4) ハンドポンプレバーの収納

ハンドポンプレバーをハンドポンプから外し、ハンドポンプレバーを付属品箱に入れてください。

(5) 吸管の収納

モーターポンプ吸水口から吸管を外し、よく水を切った後、付属品箱に入れてください。

(6) 浄水装置の収納

浄水装置にカバーをかけて収納してください。

4 定期点検

⚠ 注意

- 定期点検を必ず実施してください。
- 破損等による事故の発生や、作業に支障がでるおそれがあります。

1. モーターポンプ

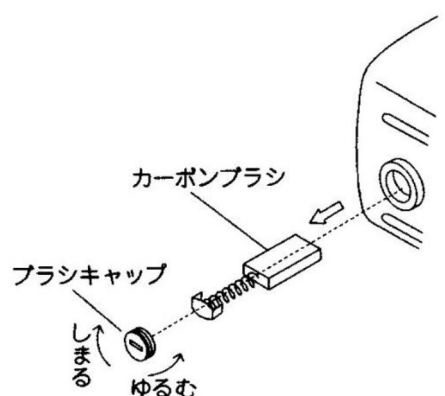
整流子モーターを使用しているためモーターのカーボンブラシは1000時間程度を目安に交換するようにしてください。

摩耗したカーボンブラシをそのまま使用しているとモーターの力が低下したり、停止したりする原因になります。カーボンブラシの摩耗状態には常に注意し、カーボンブラシ長さが5～6mm前後になれば新しいものと交換してください。

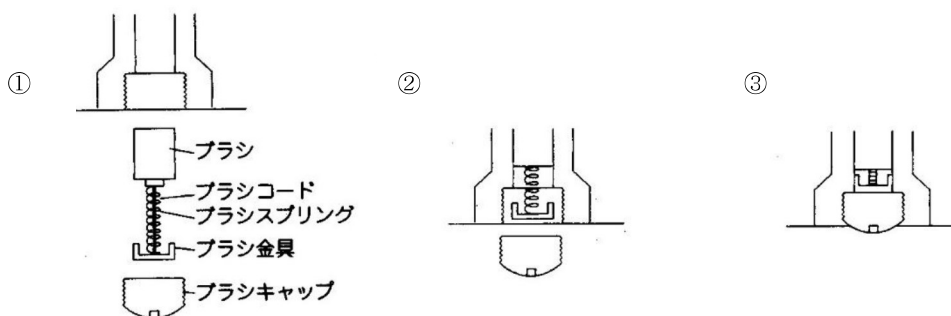
(1) ブラシの交換方法

ブラシキャップをドライバーなどで左へ回し、ブラシキャップを外してからカーボンブラシを引き抜いてください。

逆の手順で新しいカーボンブラシをはめ込み、ブラシキャップを取付けてください。



※ブラシ挿入時の注意事項



①ブラシをブラシホルダーに入れます。

ブラシはやわらかい（もろい）ものなので取扱には十分注意してください。

②ブラシ金具をさらに押しつけてブラシホルダーに入れます。

この時ブラシスプリングがブラシ金具・ブラシコードに当たらないよう注意してください。また、ブラシ金具はブラシホルダーの形状にあわせて挿入してください。

③ブラシ金具がブラシホルダーに確実に入っているのを確認してからブラシキャップを確実に締めてください。

④ブラシコードのかみ込みやブラシ金具が斜めに取付けられていると故障の原因となるので、ブラシの挿入には十分注意してください。

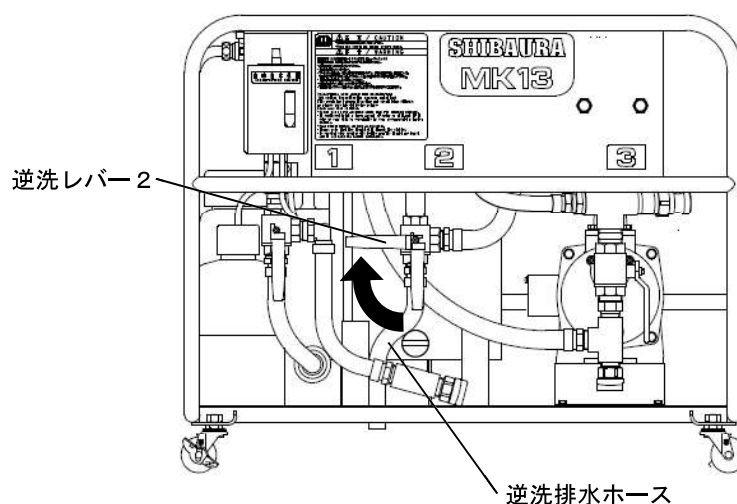
4 定期点検

2. 消毒装置

- 消毒装置本体やタンクなどの汚れは、中性洗剤等で拭き取り、いつも清潔にしておいてください。
- 点滴管が汚れると、消毒剤の吸入状態が確認できません。
点滴確認窓から点滴管の表面をきれいに拭いておいてください。
- 消毒用タンク内にゴミなどが入ると故障の原因となります。
消毒剤補給時や掃除の際は、チューブを汚したり、ゴミなどが入らないようご注意ください。
- チューブが硬化（あめ色）したり、変色（白色）したりした場合は交換してください。
(チューブを交換する場合は、お買い上げの販売店までご連絡願います。)

3. 動力点検や取水訓練の方法

浄水装置の訓練や点検等で、フィルタを使用しないでモーターポンプの動作を確認することができます。



- (1) 逆洗レバー 2 をヨコ方向（時計方向に回す）にします。
- (2) ハンドポンプでモーターポンプ内に呼び水を入れます。
「3 操作方法（運転準備） 2. 本体の準備」参照
- (3) モーターポンプを始動します。
- (4) 逆洗排水用ホースから水が出ます。
※注意：この水はフィルタを通さない水ですから、飲用できません。

5 故障の原因と処置一覧表

非常用浄水装置の故障予防には日頃の点検と整備が大切です。故障を早期に発見してすぐ整備しましょう。

簡単に整備できない箇所、または当欄に記載されていない故障や原因である場合は、お買い求めになった販売店に型式名と機番を伝え、ご相談ください。

1. 浄水装置本体及びモーターポンプ

項目	原因	対策
ポンプが回らない	スイッチがOFF	ONにする
	電源コードの断線・接触不良	修理する
	インペラが異物をかんでいる	販売店に相談する
水を吸い上げない	吸水高さが高すぎる	吸水高さを低くする
	吸管ホースジョイントのゆるみ	しっかり締める
	吸管の先が浮いている	先端を沈める
	ドレンプラグのゆるみ	しっかり締める
	呼び水が不十分	十分に呼び水する
	逆洗レバー方向が違う	正しい方向にする
水は吸い上げるが浄水がでない	吸管のストレーナのつまり	掃除する
	吸管が山なり配管	ポンプに向かって吸管を上り勾配にする
	吸水高さが高すぎる	吸水高さを下げる
浄水の流量が少ない	吸管のストレーナのつまり	掃除する
	吸管ホースジョイントのゆるみ	しっかり締める
	吸水高さが高すぎる	吸水高さを下げる
	蛇口のつまり	掃除する
	モーターポンプ不調	販売店に相談する
	蛇口が完全に開いていない	蛇口を開く
	活性炭フィルタが目詰まりしている	逆洗する 活性炭フィルタを交換する
	中空糸膜フィルタが目詰まりしている	逆洗する 中空糸膜フィルタを洗浄する 中空糸膜フィルタを交換する
急に浄水の量が増えた	活性炭フィルタの取付が不完全	フィルタ取付ナットの増し締め
	中空糸膜が破損	中空糸膜フィルタの交換
浄水が原水のおいがる	活性炭フィルタの寿命	活性炭フィルタの交換

5 故障の原因と処置一覧表

2. 消毒装置

蛇口コックをひねっても点滴管から消毒剤が点滴されていないときや、消毒剤の希釈濃度が薄いときは、以下のことを確認してください。

確 認 事 項	対 処 方 法
消毒剤用タンクに消毒剤が入っていない	消毒剤を入れる
調整ツマミの調節があっていない	調整ツマミを調節する
チューブがつぶれたり、キズがついていたりする	チューブのつぶれを直し、キズがある場合は、交換する（※）
タンクにチューブが正しくセットされていない	チューブをタンク底まで差し込む
チューブ内にゴミなどがつまっている	ゴミを取り除くか、チューブを交換する（※）
点滴確認窓から見て、点滴管にゴミなどがつまっている	ゴミを取り除くか、消毒装置を交換する（※）
エジェクタの吸入口にゴミなどがつまっている	チューブを外し、ゴミを取り除く
蛇口の水量が極端に少ない	蛇口の水量が少なすぎると、消毒剤が吸入されないことがあるので、蛇口を全開にする。
蛇口を絞っている	蛇口を全開にする

※印の場合や、原因が不明のとき、また※印以外でも工具や部品の都合などで修理が難しい場合は、当社までご連絡願います。

6 諸元表

非常用浄水装置	
製品型式	MK13AB
全体寸法	全長 793 × 全幅 537 × 全高 650 mm
処理能力	2000L/時 ※1
乾燥質量	約43kg
1. ろ過槽本体	
ろ過方式	プレフィルタ+中空糸膜+逆洗装置
膜洗浄方式	ろ過水逆流方式
プレフィルタ (活性炭フィルタ： カートリッジ型)	(素 材) PETガードフィルタ+ 繊維状活性炭 (公称孔径) 5 μ m (外径×長さ) Φ 90×249mm (使用本数) 3本
中空糸膜 (カートリッジ型)	(素 材) ポリスルホン (公称孔径) 0.04 μ m (外径×長さ) Φ 69×263mm (使用本数) 3本
ハウジング	(本 体) SUS304 (締付バンド) SUS304 工具不要締付バンド採用
2. モーターポンプ (自吸式過流型)	
モデル	MP-25
吸込側口径	25mm (1インチ)
吐出側口径	25mm (1インチ)
定格回転数	7,400 rpm
全揚程	最大 35m
吸込揚程	最大 8m
最大吐出量	100L/分
電源	AC100V-50/60Hz
電流	11A
出力	350W
外観寸法	全長 325 × 全幅 162 × 全高 288mm
乾燥質量	約6kg
3. ハンドポンプ	
容量	240mL/ストローク
吸水揚程	約6m

6 諸元表

4. 消毒装置	
本体	(消毒剤) 次亜塩素酸ナトリウム (注入方法) エジェクタ式 (設置位置) 浄水出口
消毒剤用タンク	(容量) 2 L (寸法) $\phi 126 \times H 245$ mm (材質) PE
5. 本体フレーム	
フレーム	(材質) SUS304 丸パイプフレーム
キャスタ	(材質) ゴム (車輪径) $\phi 50$
6. 付属品	
取扱説明書・簡易取扱説明書	各 1 冊
付属品箱：付属品を収納	1 個
25A×5m 吸管：ストレーナ付	1 本
プレフィルタ（カートリッジ型）：（PETガードフィルタ＋繊維状活性炭）	3 本
浄水ホース：2m	2 本
次亜塩素酸ナトリウム6%溶液600mL	1 本
計量カップ：50mL	1 個
残留塩素測定器：pH測定器付水質検査キット	1 個
本体カバー	1 枚
カーボンブラシ	1 式
ドレンプラグキャップ	1 個
備 考) ※1 処理能力は清浄な水での初期値です。	

株式会社シバウラ防災製作所

営業部

〒390-0846 長野県松本市渚四丁目 3-15

ツーンオービル 2F

TEL (0263) 29-1072 (直通) FAX (0263) 29-1074

URL: www.shibaura-bousai.co.jp